

能登棚田米通信 Vol.12 H27.3.3

◎ 「能登棚田米」トピックス

- (1) 昨年、12月24日に奥能登行政センターにおいて生産者部会研修会が開催され、米穀情勢や能登棚田米の取組み実績報告や栽培指針の変更点を確認しました。
- (2) 2月には東京で開催された「いしかわ百万石マルシェ2015冬」、「第49回スーパーマーケット・トレードショー2015」において、首都圏の飲食業関係者、食品産業関係者にPRを行いました。
- (3) 輪島市のふるさと納税の特典に採用され、精米10kg/件が納税者へ届けられています（3月末まで）。
- (4) のと里山空港の全国乗継ぎキャンペーン、愛称記念キャンペーン、北國新聞サンクスキャンペーン「ふるさとの逸品賞」の景品に採用されました。



第2回生産者部会研修会



首都圏でのPR活動を実施

◎ 生産者部会研修会を開催します。

日時 平成27年3月13日（金）10：30～12：00
場所 奥能登行政センター 4階 41会議室
内容 能登棚田米の栽培指針（特別栽培）について他
※新規に取組む生産者の方は必ずご参加ください。

◎ アンケートにご協力ください（全生産者対象）

本年もアンケート調査を実施します（アンケート用紙を同封いたします）。能登棚田米生産の課題や販売対策を考えるに当たり、重要な調査ですのでご協力をお願いします。

つきましては、3月10日（火）までに最寄りのJA及びJA支店にご提出ください。

◎ 棚田保全活動（イノシシ対策等）を支援します。

昨今、イノシシの被害を受けている生産集落が多く、すでに電気柵を設置した集落もごさいます。協議会では今後、電気柵の設置を考えている集落に対して人的支援（ボランティア活動）を行っていきたいと考えております。支援を希望される集落がありましたらお近くのJAまでご相談ください。

◎ 栽培管理・技術情報

間もなく浸種、播種作業が始まります。種子消毒は以下の何れかとしてください。

(1) タフブロック粉衣種子（JA 購入種子）を使用する。

注意：播種後の「ダコニール1000」は使用しない

(2) 温湯消毒種子（JA 購入種子）を使用し、播種後はダコニール1000を散布する。

※JA から出芽苗、硬化苗を購入される方は、通常の育苗管理となります。

ご不明な点、ご心配な点がございましたら、お近くのJA または、奥能登農林総合事務所（0768-26-2323）までお問い合わせください。

能登棚田米通信

Vol.11 H26.9.4

◎ 「能登棚田米」トピックス

- (1) 8月7日に JA 内浦町管内で能登棚田米生産者部会研修会を開催し、40名の参加がありました。参加者は環境保全型農業直接支払制度についての座学と能登町国重地区の実証ほにて、追肥と粒剤防除体系についての現地研修を行いました。
- (2) 8月23日に輪島市門前町久川地区において学生ボランティア団体「能登ラボ」のメンバーが、仁岸神社の例大祭の支援を行いました。参加者は御輿巡行を通じて、集落の方々との交流を深めました。次回は9月20日に収穫・調製作業の支援を予定しています。
- (3) 石川県産食材を首都圏でPRすることを目的とした「いしかわ百万石マルシェ」が、8月21日に東京都千代田区で開催されました。会場には、首都圏の料理人、バイヤーなど約150名の参加があり、「能登棚田米」は能登のこだわり農産物としてPRブース出展をしました。
- (4) 8月23日、24日に、県産業展示館で開催された「いしかわ環境フェア」に、環境にやさしいお米として「能登棚田米」のPRブース出展をしました。



能登町国重の実証ほ視察



仁岸神社例大祭の支援



「百万石マルシェ」でのPR販売

◎ 生産履歴の提出について（お願い）

能登棚田米は特別栽培米に移行したことにより、国の表示ガイドラインに従い使用農薬等を表示する義務があります。

JA では間違いなく表示をするための準備を進めますので、**早急に生産履歴を記帳し、お近くのJAまで提出をお願いします。**

◎ 重要「能登棚田米」の食味を分析します（全生産者対象）

本年度も「能登棚田米」全生産者を対象に米の品質、食味調査を実施します。

なお、分析結果がまとまり次第、皆様に結果をお返しいたしますので、次年度の栽培の参考にしてください。

つきましては、JAに出荷する際、玄米2キログラムの提出をお願いします（お手数ですが、入れ物（袋等）はご準備ください。

「能登棚田米」の食味PRおよび評価向上のため、是非ご協力いただきたくお願い申し上げます。

◎ 専用肥料の名称変更について

H26年からの能登米（能登⑧③④①たんぼづくり運動）の本格実施にともない、類似した名称の肥料をJAでは取り扱っています。そこで、皆様方の混乱を避けるため、「能登棚田米」専用肥料の名称を変更することとなりました。（裏面につづく）

つきましては、**次年度資材の注文票記入の際はご注意ください。**なお、既存肥料の在庫をお持ちの方は次年度ご使用いただいても差し支えありません。

(旧)「奥能登有機入りコシヒ粳」→(新)「里山の香」

◎ 栽培管理・技術情報

(1) 間もなく刈取りが始まります。

奥能登管内のコシヒカリの収穫は 8 月 10 日頃から始まりますが、収穫適期を見極め(粳の黄化率 85%~90%)、収穫を行ってください。

能登棚田米コシヒカリ(山間地)の刈取り適期は 9 月 15 日頃が見込まれております。

また、本年は大雨となることが多く、程度の差こそありますが、倒伏が生じているほ場もみられます。倒伏したほ場においては穂発芽が懸念されますので収穫時期を考慮し、刈り遅れに注意してください。

(2) 適切な乾燥調製を徹底しましょう。

能登棚田米の専用紙袋に入れるまでが能登棚田米の生産です。収穫した粳は速やかに乾燥機に張り込み、急激な乾燥は避けてください(乾減率: 1 時間当たり粳水分が 0.8~1.0%低下が目安)。

現在、検査の中で粳の混入や胴割粒による落等が確認されておりますので、粳摺機のロール圧の調整やライスグレーダーの清掃・点検を再度徹底し、肌ずれ米、胴割粒、粳の混入の予防と防止に努めてください。

ご不明な点、ご心配な点がございましたら、お近くの JA または、奥能登農林総合事務所(0768-26-2323)までお問い合わせください。

能登棚田米通信

Vol.10

H26.7.28

「能登棚田米」は本年から**特別栽培米**となります。栽培指針を遵守し、**肥料・農薬の使用には十分に留意**し、おいしくてきれいなお米を生産しましょう。

◎ 「能登棚田米」トピックス

- (1) 佐渡・能登農業者交流会が開催されました。
7月5日～6日にかけて、能登棚田米生産者13名が、環境に配慮した米づくりを学ぶため佐渡を訪れました。
参加者は岩首地区の棚田見学をはじめ、実際に生きもの調査を行うなど、現地農業者との交流を図りました。
- (2) 第1回目の棚田保全活動を行いました。
7月12日に輪島市門前町久川地区において学生ボランティア団体「能登ラボ」のメンバーが、石倉久川区長、山崎JAおおぞら組合長の挨拶の後、水路の除草作業に汗を流しました。昼食には「能登棚田米」のおにぎりと豚汁をいただきました。次回は8月23日の仁岸神社例大祭の支援が予定されています。
- (3) 東京日本橋三越本店でPR販売を行いました。
7月16日～22日にかけて、日本橋三越本店にて開催された世界農業遺産フェアで「能登棚田米」の試食販売を行いました。



佐渡岩首地区の棚田群



能登ラボと久川集落の交流



日本橋三越本店でのPR販売

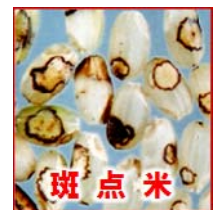
◎ 能登棚田米生産者部会研修会の開催について

- 日時 平成26年8月7日(木) 10:00～
- 場所 JA内浦町研修室 能登町白丸18-24-1
- 内容 (1)現在の生育と今後の管理について
(2)環境保全型農業直接支払制度について(補助金の受給について)
(3)追肥と粒剤防除実証ほの現地見学(能登町国重地区)

◎ 栽培管理・技術情報

- (1) 本年は近年になく**斑点米カメムシの発生量が多くなっています**。適期防除の徹底で斑点米被害を無くしましょう。

表：能登棚田米栽培指定薬剤(粉剤体系)例：8月3日出穂期の場合



出穂直前	8月1日頃	ビームトレモンセレン粉剤DL	3成分
出穂7～10日後	8月10日頃	ラブサイドキラップ粉剤DL	2成分
出穂14～17日後	8月17日頃	スタークル粉剤DL	1成分

※ 上記表の施用日は目安ですので、**ほ場を確認のうえ防除**してください。

※ 除草剤等の使用で農薬の成分回数が「6」を超えている方は上記の3回の粉剤防除を行うと「特別栽培米」の基準を超えますので、JAにご相談ください。

ご不明な点がございましたら、お近くのJAまたは、奥能登農林総合事務所までお問い合わせください。

能登棚田米通信

Vol.9 H26.6.9

「能登棚田米」は本年から**特別栽培米**となります。栽培指針を遵守し、**肥料・農薬の使用には十分に留意**し、おいしくてきれいなお米を生産しましょう。

◎ 「能登棚田米」トピックス

- (1) 平成26年産の能登棚田米は2市2町の31集落、62名の生産者で約46ヘクタール作付けされました。25年産から、約6ヘクタール増加しました。
- (2) 谷本知事のお声かけにより、大阪府に本社を持つ総合エレベーターメーカー株式会社クマリフトの熊谷社長に約8.5トンの能登棚田米を購入いただきました（社員全員にプレゼントされ、好評を得ています）。
- (3) SUNTORY（サントリー）の発泡酒「金麦」のキャンペーン景品に「能登棚田米」が選ばれました。

その他、協議会では様々なイベント等での能登棚田米のPRを予定しております。

◎ 「佐渡・能登農業者交流会」視察研修の開催について

昨年に引き続き、佐渡への視察研修を予定しております。能登と同時に世界農業遺産に認定された佐渡の取組を学んでみませんか。

日 時 平成26年7月5日（土）～7月6日（日）1泊2日

内 容 佐渡岩首地区棚田群視察、朱鷺と暮らす郷認証米制度についてほか。

その他、伝統芸能である「天領佐渡両津薪能」の鑑賞を予定しています。

珠洲市飯田港からのチャーター船利用を予定しております。内容の詳細は追ってご連絡いたしますので、参加のご検討を宜しくお願いします。

◎ 栽培管理・技術情報

- (1) 現在、多くのほ場では中干し開始時期を迎えています。

移植から1ヶ月を目安に中干しを開始してください

（例：5月10日移植→6月10日頃中干し開始）。

- (2) 水田内の1本苗が分けつを2本出していれば中干し開始です（図参照）。株あたり、苗を4～5本で移植したほ場では、**約12～15本/株の莖数となり、中干しの開始時期**になります

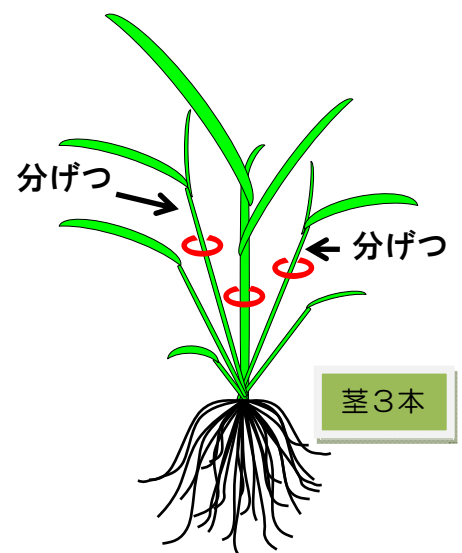
★なぜ中干しが必要？

- ・無駄な分けつの発生を抑制し、籾数過剰を防ぐことで未熟粒や乳白粒の発生を軽減します。
- ・根に酸素を供給し、根の生育を促すことで、登熟期の養分吸収を活発にします。

- (3) **6月中旬にはPK けいさん（40kg/10a）を必ず施用してください（能登棚田米栽培暦参照）。**

注意！PK けいさんは水田が湿った状態または、浅く水を張って散布してください。

- (4) 除草対策でやむを得ず、ヒエクリーン1キロ粒剤、バサグラン粒剤を散布した方はカメムシの防除に注意が必要になりますので留意ください。



ご不明な点がございましたら、お近くのJAまたは、奥能登農林総合事務所までお問い合わせください。

能登棚田米通信

Vol.8 H26.5.9

「能登棚田米」は本年から**特別栽培米**となります。栽培指針を遵守し、**肥料・農薬の使用には十分に留意**し、おいしくてきれいなお米を生産しましょう。

◎「特別栽培米」とは

- (1) 水稻の慣行栽培（石川県の基準）より化学合成された窒素成分投入量と節減対象農薬の使用回数を5割以上削減して栽培

窒素成分量（単位：N kg/10a）		農薬使用回数（単位：成分回数）	
エコ栽培	特別栽培	エコ栽培	特別栽培
5.6	4.0 以下	15	11 以下

- (2) 農林水産省の表示ガイドラインに従って栽培履歴を表示

◎「環境保全型農業直接支払交付金」について

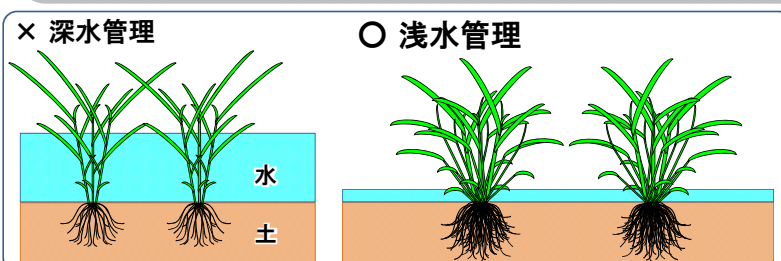
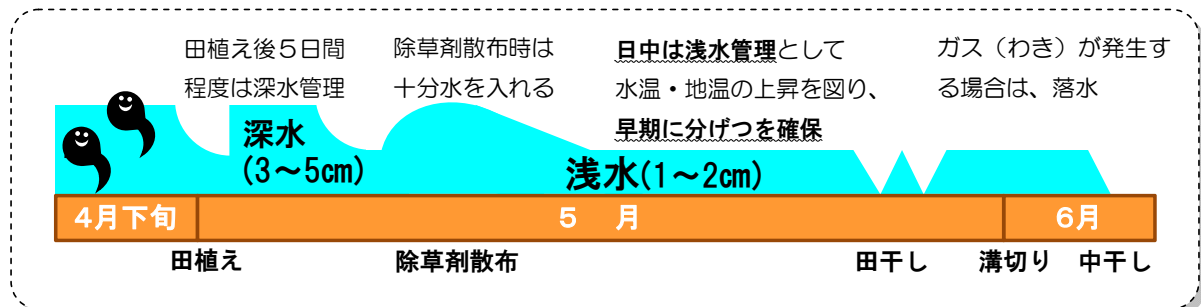
平成26年より、上記交付金において**畦畔の機械除草及び長期中干しの組合せ**が支援対象（4,000円/10アール）となりました。畦畔の機械除草はこれまでも生産者全員が実践しており、特別栽培に移行することで交付金の支援対象となりました。

但し、以下の交付条件がありますので、①に関しては奥能登農林総合事務所、②に関してはお住まいの市町にご確認ください。

- ① エコ農業者認定を受けていること（個人認定が必要となります。申請に際しては当協議会が事務支援致します。）
- ② 畦畔除草管理で他事業の補助金を受給していないこと（農地・水保管理、中山間地域等直接支払交付金等）

◎ 栽培管理・技術情報

- (1) 移植作業は5月の連休を中心に行われました。連休に移植したほ場では除草剤の散布適期となっていますので、遅れないように散布してください。
指定除草剤：ヤイバ1キ口粒剤（成分数2回）使用時期：移植直後～ノビエ3葉期
- (2) 晴天時には浅水管理とし、地温の上昇を図ることで、分けつの発生を促してください。
注意！深水管理の継続は分けつの発生を遅らせるため、穂数の減少や収量の低下につながります。
- (3) 移植後15日頃から中干しの開始（6月初旬）までの間に2～3回の田干しを行い、
土壌中の有害ガスを抜き、根の健全化に努めてください。



ご不明な点がございましたら、お近くのJAまたは、奥能登農林総合事務所までお問い合わせください。

能登棚田米通信

Vol.7

H26.1.7

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

◎「能登棚田米」トピックス

- (1) 11月25日から27日にかけて「能登棚田米」を生産する能登の農業者やJA関係者32名が佐渡を訪問しました。佐渡は「トキと共生する佐渡の里山」として、能登と同時に世界農業遺産に認定されたサイトです。訪問団は「トキと暮らす郷認証米制度」等を学ぶとともに、能登における環境保全型農業の実践に対するヒントを得るための交流を行いました。
- (2) 11月30日に羽咋市で「能登の農業を語る会」が開催され、石倉稔能登棚田米生産者部会長が谷本石川県知事と懇談しました。懇談の後、門間東京農業大学教授が「世界の宝・中山間地域農業の再生をどう進めるか」と題し、講演会が行われました。
- (3) 12月18日に能登棚田米生産者研修会が開催され、25年産米の品質・食味分析の結果に基づいた次年度対策や26年産米から取組む特別栽培米生産の注意点について学びました。



朱鷺と暮らす郷認証米精米袋



生産者研修会の様子

◎ **重要** アンケートにご協力ください（全生産者対象）

能登棚田米生産者部会員を対象にアンケート調査を実施します（アンケート用紙を同封いたします）。能登棚田米生産の課題や販売対策を考えるに当たり重要な調査ですのでご協力をお願いします。

つきましては、1月31日(金)までにお近くのJA及びJA支店にご提出ください。
提出がない場合はJA職員が回収に伺いますので必ず記載してください。

◎お知らせ

(1) 25年産米生産の品質・食味分析の結果について

先に開催した研修会において、参加された方には25年産米生産の品質・食味分析の結果をお返ししました。研修会に参加されなかった方で、結果を知りたい方はお近くのJAまでお問い合わせください（全生産者の結果が記されています）。

(2) 世界農業遺産「トキと共生する佐渡の里山」の取組みを学ぼう

昨年11月に実施した佐渡・能登農業者交流会の参加者から、是非、佐渡の取組みを一人でも多くの能登の農業者に伝えたいとの希望から下記日程で講演会を計画しております。詳細な内容につきましては後日、ご案内いたします。

日時 平成26年2月15日(土) 10:00～
場所 奥能登行政センター 4階 会議室
講師 渡辺 竜五 氏（佐渡市農林水産課長）

ご不明な点がございましたら、お近くのJAまたは、奥能登農林総合事所（0768-26-2323）までお問い合わせください。

能登棚田米通信

Vol.6

H25.9.12

◎「能登棚田米」トピックス

- (1) 能登棚田米 PR ポロシャツが関係者以外からも注文が入るなど人気です。ご注文はお近くの JA までお願いします。
- (2) 今年も昨年に引き続き、東京三越日本橋本店において首都圏における「能登棚田米」の PR 販売を行います。
10月23日～29日「世界農業遺産能登の里山里海フェア」のメイン商品として販売が予定されています。
- (3) 輪島市門前町久川で9月21日に3回目の棚田保全活動を行います。支援内容は収穫・調製作業を予定しています。



注文はお早めに！（笑）

◎ **重要** 「能登棚田米」の食味を分析します（全生産者対象）

本年度も「能登棚田米」全生産者を対象に米の食味調査を実施します。さらに、分析結果の優れる生産者の方の米（各 JA 1 名）は、日本穀物検定協会にて詳細な食味分析を実施します。

なお、分析結果がまとまり次第、全生産者に結果をお返しいたしますので、次年度の栽培の参考にしてください。

つきましては、「能登棚田米」を JA に出荷する際に、玄米2キログラムの提出をお願いします（お手数ですが入れ物をご準備ください）。

「能登棚田米」の食味 PR および評価向上のため、是非ご協力いただきたくお願い申し上げます。

◎「能登棚田米」栽培管理・技術情報

(1) 「能登棚田米」の刈取りが始まりました。

収穫作業は9月8日頃から始まり、現在、多くの能登棚田米生産ほ場で刈取り適期となっております。

しかし、8月下旬以降のゲリラ的な豪雨や継続的な大雨により、能登棚田米生産ほ場でも程度の差こそありますが、倒伏が生じています。倒伏したほ場においては穂発芽が懸念されますので収穫時期を考慮し、刈り遅れに注意してください。

(2) 適切な乾燥調製を徹底しましょう

能登棚田米の専用紙袋に入れるまでが能登棚田米の生産です。収穫した籾は速やかに乾燥機に張り込み、急激な乾燥は避けてください（乾減率：1時間当たり籾水分が0.8～1.0%低下が目安）。

現在、検査の中で籾の混入や胴割粒による落等が確認されておりますので、籾摺機のロール圧の調整やライスグレーダーの清掃・点検を徹底し、肌ずれ米、胴割粒、籾の混入の予防と防止に努めてください。

ご不明な点、ご心配な点がございましたら、お近くの JA または、奥能登農林総合事所（0768-26-2323）までお問い合わせください。

能登棚田米通信

Vol.5

H25.8.28

◎「能登棚田米」トピックス

(1) 8月19日～20日に新潟県佐渡市で予定されていた生産者部会視察研修会は悪天候で直通船が欠航したため、延期となりました。

次回の日程が決まり次第お知らせいたします。

(2) 東京・新宿において石川県ゆかりの人々を対象に谷本知事も出席のもと、「百万石の集い」が開催されました（8/24）。

協議会では能登棚田米の塩おにぎりの試食会と新米の予約販売に向けたPRを行いました（写真1）。

(3) 輪島市門前町久川で2回目の棚田保全活動を行いました。今回は、能登の地域活動を支援する学生団体「能登ラボ」が、仁岸神社の例大祭の支援を行いました（8/24）。

「能登ラボ」のメンバーは18年ぶりに復活した御輿巡行を通じて、集落の方々との交流を深めました。次回は9月中旬頃に収穫・調製作業の支援を予定しています（写真2）。

(4) 8月28日、北陸放送の「ほっと石川」の番組撮影が輪島市門前町久川において行われました。番組は大粒ブドウの「ルビーロマン」と「能登棚田米」の2本立てで制作されました。

放送は9月7日夕方5時15分～30分が予定されています。



写真1 ブースの様相



写真2 仁岸神社例大祭

◎「能登棚田米」栽培管理・技術情報

(1) 高品質米は適切な水管理から

間断通水により、稲の活力を維持することとし、水田の乾燥状況に合わせて収穫に支障が出ない範囲で収穫直前までの通水に努めて下さい。

(2) 適期刈取りで高品質米を生産しましょう

梅雨明け以降、高温状態が続きましたが、現在は登熟に良い温度となり、イネは順調に登熟しております。

しかしながら、ほ場により登熟程度に差があることから、収穫時には必ず籾黄化率85%～90%を確認し、刈り遅れに注意してください。

能登棚田米コシヒカリの刈取り適期は9月12日頃が見込まれております。

また、一部倒伏したほ場においては穂発芽しないよう収穫時期に配慮してください。

(3) 適切な乾燥調製を徹底しましょう

能登棚田米の専用紙袋に入れるまでが能登棚田米の生産です。収穫した籾は速やかに乾燥機に張り込み、急激な乾燥は避けてください（乾減率：1時間当たり籾水分が0.8～1.0%低下が目安）。

また、籾摺機やライスグレーダーの清掃・点検を必ず実施し、肌ずれ米、胴割粒、籾の混入の予防と防止に努めてください。

裏面もご覧ください。

◎ 能登棚田米オリジナルポロシャツを販売します。

協議会では能登棚田米のPRのため、オリジナルポロシャツを作成しました。JA職員や行政職員も着用しています。能登棚田米のPRのため、是非ご購入をご検討ください。ご注文についてはお近くのJAまでお問い合わせください。



(左) ネイビー (白)
(右) ホワイト (黒)



左袖には世界農業遺産のロゴマーク
左胸にポケットが付いています

色 : ホワイト (黒)、ライトブルー (黒)、ネイビー (白)

括弧内の色はロゴマークの色です。

サイズ: XS、S、M、L、XL、2XL、3XL、4XL

価格: 2,200円 (税込)

ご不明な点、ご心配な点がございましたら、お近くのJA または、奥能登農林総合事所 (0768-26-2323) までお問い合わせください。

能登棚田米通信 Vol.4

H25.8.1

◎「能登棚田米」トピックス

- (1) 去る7月15日、JAおおぞら本店及び輪島市三井町仁行において生産者研修会が開催されました。生産者・関係者含め63名が参加し、高品質米生産の意識を高めました。
- (2) 谷本知事の要望により、「北陸新幹線みらい応援債」購入者への特典景品として「能登棚田米」が採用され、新幹線金沢開業PRと併せて全国にPRされます。
- (3) 全日空（ANA）小松-東京便小松空港就航50周年キャンペーンの景品として「能登棚田米」が採用されました。
- (4) 「ほっと石川」観光キャンペーンの景品として「能登棚田米」が採用されました。
- (5) 「能登棚田米」をメイン商品として、東京三越日本橋本店でフェアを開催することが決定しました。



北陸新幹線イメージ図



◎ 能登棚田米生産者部会視察研修会を開催します。

日 時：平成25年8月19日～20日（1泊2日）（予定）

場 所：JA佐渡管内（新潟県佐渡市（予定））

能登と同時に「トキと共生する佐渡の里山」として世界農業遺産の認定を受けた新潟県佐渡市において「朱鷺と暮らす郷づくり認証制度」や「田んぼの生きもの調査」の取組みを視察するとともに、佐渡の農業者との交流を図ります。

※詳しい内容は、次回の「能登棚田米通信」でお知らせします。

◎「能登棚田米」栽培管理・技術情報

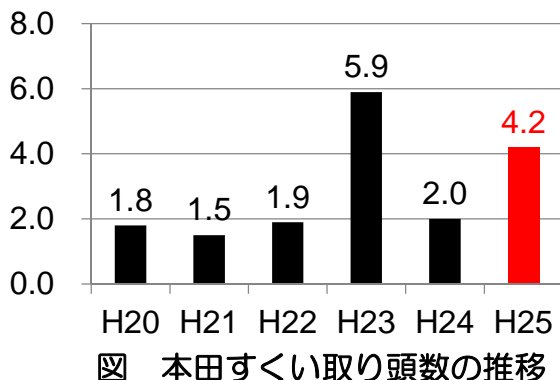
(1) 高品質米は適切な水管理から

間もなく、出穂期を迎えます。通水間隔の短い間断通水を実施し、収穫直前までの水管理の徹底に努めて下さい。

(2) 薬剤防除の徹底で斑点米を防ぎましょう。

本年は、例年よりも多くの斑点米カメムシ類の本田侵入が確認されております。

「能登棚田米」栽培暦に指定される薬剤を適期に適量を必ず施用して下さい。



防除等でご不明な点、ご心配な点がございましたら、お近くのJA または、奥能登農林総合事務所（0768-26-2323）までお問い合わせください。

能登棚田米通信 Vol.3 H25.7.8

◎能登棚田保全活動協議会が棚田保全活動を行いました。

去る、7月6日に、輪島市門前町久川集落において能登棚田保全活動協議会として初めて棚田保全活動を行いました。

協議会メンバーの他、県内外の5つの大学生17名がボランティアとして集落を訪れ、水路周辺の除草や農道の補修作業を行いました。

お昼には「能登棚田米」のおにぎりと豚汁を食べながら、集落の方々と交流を深めました。

協議会では引き続き、「能登棚田米」生産集落での棚田保全活動を実施してまいります。



◎「能登棚田米」生産者研修会を開催します。

「能登棚田米」の生産者を対象に技術研修会を開催します（座学及び現地研修）。

日時：平成25年7月15日（月）
10時00分～12時00分

場所：JA おおぞら本店・輪島市三井町仁行

※詳しい内容は、お近くのJAもしくは事務局（JA おおぞら52-3813）にお問い合わせ下さい。

※なお、昼食は準備してございます。祭日ですので是非、参加をお願いします。



◎「能登棚田米」栽培管理・技術情報

(1) 高品質米は適切な水管理から

まもなく、幼穂形成期を迎えます。中干しを止め、間断通水に切り替えて下さい。但し、湛水（ためっぱなし）は厳禁です。通水と田干しを繰り返しましょう。

(2) 登熟期間の栄養失調に気をつけましょう。

「能登棚田米」は指定の基肥一発肥料を使用していますので、原則、追肥（穂肥）は必要ありませんが、葉色が極端に淡い場合は、昨今の高温登熟条件では品質低下や減収が懸念されるため、追肥が必要となる場合があります。このため、「能登棚田米」の栽培基準（エコ基準）の遵守を前提に追肥対応を要することがあります。

(3) 薬剤防除の徹底で斑点米を防ぎましょう。

本年も、多くの斑点米カメムシ類の生息が確認されております。「能登棚田米」栽培暦に指定される薬剤を適期に適量を施用して下さい。

なお、除草剤でバッチリ1キロ粒剤に加え、クリンチャー1キロ粒剤、バサグラン粒剤の両方を使用した圃場では、防除体系を変える必要がありますのでご注意ください。

追肥の判断や防除等でご不明な点、ご心配な点がございましたら、お近くのJAまたは、奥能登農林総合事務所（0768-26-2323）までお問い合わせください。

能登棚田米通信 Vol.2 H25.6.17

◎「能登棚田米」が世界農業遺産国際会議で提供されました。

去る、5月29日から31日に、七尾市の和倉温泉「あへの風」をメイン会場に「世界農業遺産国際会議」が開催されました。会議には国内外より多くの参加者があり、各国の要人も多数参加しました。

記念シンポジウムでは、谷本石川県知事が県の取組みを紹介し、能登棚田米の取組みについても世界に発信されました。

能登棚田米の取組みは世界農業遺産を活用したリーディングケースとして国連大学をはじめ、関係者に高く評価されております。

歓迎レセプションでは、参加者に能登棚田米の塩おにぎりと赤米をブレンドした能登棚田米のおにぎりが振る舞われ、好評を得ました。



「能登棚田米」PRブース
和倉温泉「あへの風」にて（5月30日）

◎「能登棚田米」栽培管理・技術情報

(1) 直ちに「中干し」を開始して下さい！。

新聞にも報道されたように、本年は好天が続き、稲の生育が旺盛となっており、茎数の過剰が懸念されます。乳粕粒やくず米の増加につながらないように、**早急に「中干し」を開始して下さい。**中干しは7月上旬まで継続し、湛水は避けて下さい。
※溝きりを合わせて行うことで中干しの効果が向上しますので併せて実施して下さい。

(2) 「PKけいさん」は6月20日頃を目安に散布して下さい。

能登棚田米の栽培条件の一つが「PKけいさん」の散布です。10アール（一反）あたり40kgを必ず散布して下さい。

(3) 畦畔除草の徹底で斑点米カメムシ類の被害を防ぎましょう。

本年も例年同様、多くの斑点米カメムシ類の生息が確認されております。生息場所を無くすため畦畔の機械除草を徹底して下さい。

なお、除草は7月上旬に終わるようにして下さい（以降の除草は本田に斑点米カメムシ類を追い込みます）。

（注意!!）能登棚田米生産ほ場は畦畔の雑草防除は機械除草が必須です。

(4) 本田のヒエの防除を徹底しましょう。

斑点米カメムシ類はヒエが好物です。斑点米カメムシ類の本田侵入を避けるためにヒエが多発している圃場ではクリンチャー1キロ粒剤を散布して下さい。

（注意!!）クリンチャー1キロ粒剤とバサグラン粒剤の両剤をやむなく散布した水田は、今後の本田防除の対応を変える必要がありますので、その旨、お近くのJAにお伝え下さい。

ご不明な点、ご心配な点がございましたら、お近くのJA または、奥能登農林総合事務所（0768-26-2323）までお問い合わせください。

能登棚田米通信 Vol.1 H25.5.17

◎能登棚田米通信の発刊にあたり

(生産者部会会長 石倉稔 輪島市門前町久川)

能登棚田米は、能登の清らかな水と風、私たちの先人の手が守り続けてきた棚田で、環境に配慮した栽培法と「能登はやさしや土までも」と唱われる能登のやさしい風土で生産されたお米として昨年市場デビューし、好評を得ております。

この能登棚田米をより魅力ある石川のブランドに育てていくため、私たち生産者や関係機関が一丸となって連携し、能登の米の評価を高めていきたいと考えていますのでご協力をよろしくお願い致します。



◎「能登棚田米」栽培管理・技術情報

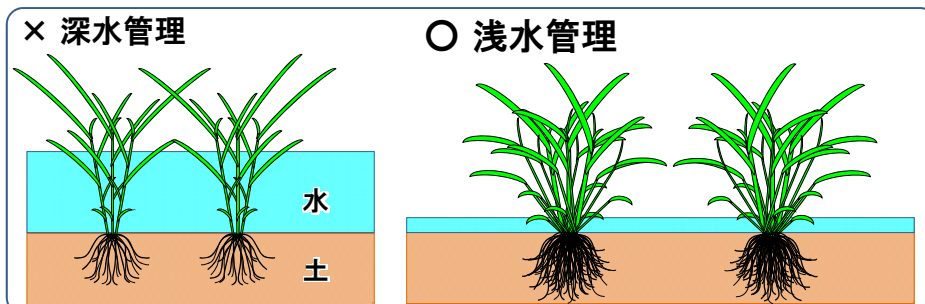
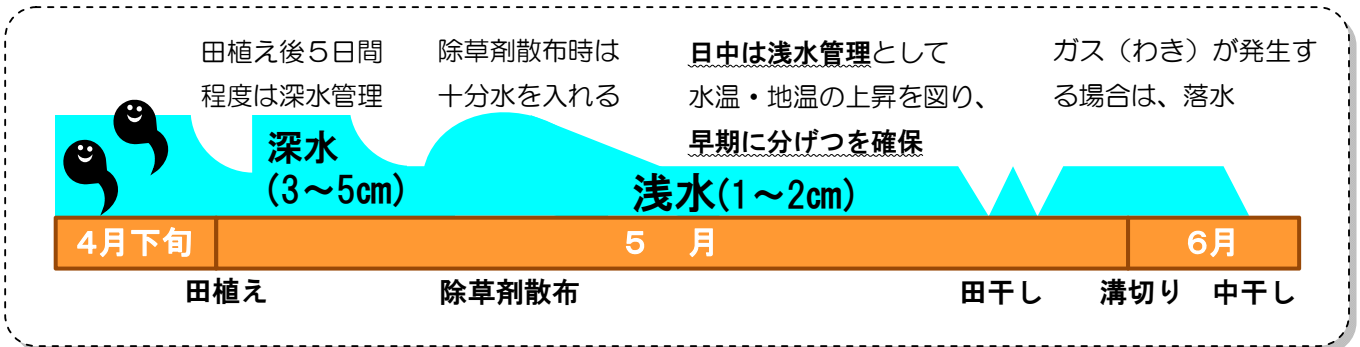
(1) 移植作業は5月の連休を中心に行われましたが、低温（遅霜）や強風の影響を受けた水田では、葉の痛み（葉枯れ症状）により、新葉の展開が遅れています。

ただし、影響を受けた水田でも連休後の好天により、生育は回復していますので心配はありません。

(2) 今後の気象予報では気温は平年並で晴れの日が多いと予測されていますので、晴天時には浅水管理とし、地温の上昇を図ることで、分けつの発生を促してください。

注意！ 移植後の深水の継続は地温の上昇を遅らせ、さらに水圧が初期の分けつの発生を遅らせるため、穂数の減少や収量の低下につながります。

(3) 移植後15日頃から中干しの開始（6月初旬）までの間に2～3回の田干しを行い、土壌中の有害ガスを抜き、根の健全化に努めてください。



ご不明な点、ご心配な点がございましたら、お近くの JA または、奥能登農林総合事務所（0768-26-2323）までお問い合わせください。

なお、この能登棚田米通信は不定期に能登棚田米の生産者全員に配布しております。